

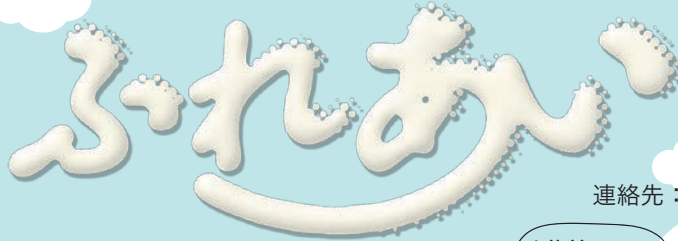


↑こちらからどうぞ

人権協シンボルマーク



いろんな人と人とのつながり、
ふれあいを美浜のMと波で
イメージしました。



人権協HPが
できました!

第1回町民人権講座 映画上映と映画監督講演会

映画 | ぼけますから、よろしくお祈いします。

5/29 Sun.



去る令和4年5月29日(日) 13:30より、第1回町民人権講座が行われました。今回の講座は、映画「ぼけますから、よろしくお祈いします。」の上映と、この映画を監督した信友直子さんの講演が行われました。

この映画は、信友直子さんの年老いたご両親の日常を撮影したドキュメント映画で、信子さんの母文子さんがアルツハイマー型認知症と診断された後のご夫婦の日々の生活の様子が記録されています。認知症が進行していくことへの不安やいらだち、まわりに迷惑をかけたくはないが、でも助けて欲しいという文子さんの心の葛藤や、老いていくことへの不安を抱えながらも、娘の力を借りずに自分の力で妻文子さんを支えていこうとする直子さんの父良則さんの姿が映し出されました。高齢のご夫婦の何気ない会話の場面では思わず笑いがこみ上げ、また、文子さんがいらだちを爆発させる場面では大きく感情が揺さぶられました。誰にでも起こりうる日常を映し出した映画であるため、自分自身や家族のことを重ね合わせて見ていた方も多かったことでしょう。今後の生活や生き方、家族との関わり方について、深く考える機会を与えてくれた映画でした。

講演 | 認知症が私たち家族にくれたギフト 講師 | 信友 直子さん

信友さんの母が認知症を患ってから、父はこれまでほとんどやっていた家事をやるようになったそうです。「信友家は1軒しかない。(母と父の) どちらが掃除をしても同じだし、母が覚えていないならわしが覚えていけばいい。」父はそう言って、家事をこなしたそうです。懸命に母をサポートする父の姿は、母が認知症になったからこそ気付けた父の一面だったと言います。

信友さんは、母の介護を通して、介護は家族だけで抱え込まず、近所の方に相談したり、介護サービスを上手く利用したりすることが大切だと話します。家族だけではどうにもならないことも、近所の人やヘルパーさんが力になってくれると。恥ずかしがらず公表することが大事だと話されていました。

認知症は、誰もが患う可能性があり、その介護をする可能性があります。そんな時、どちらの立場であったとしても、なるべく戸惑うことなく暮らしていけるよう、今から認知症について考えておく必要があるのではないのでしょうか。



老老介護の状態、症状が進む認知症の家族を受け入れる心の動きがストレートに伝わってきました。寄りで見ると「非」、引きで見ると「喜」、物事の捉え方で方向も変わる。意識を変えることで本人の気持ちも変えられる... 考え方を変えると良い方向になることもあるとわかりました。

人へのやさしさこそが、人への感謝こそが、人生を豊かにしてくれるのではないかと思われます。

人権講座としてのこの映画はたいへんよかったです。ありのままの老後記録として映画化したこと、みんな通る道、夫婦の在り方... 子どもに頼ることが難しい時代、深く自分の人生を考えてみたく思いました。

若い世代の方々に参加いただけるといいですね。

令和3年度

第6回町民人権講座

あきらめない心

伊藤 真波 さん

2/23 wed.

雪の降る2月23日(水・祝)第6回町民人権講座が開催されました。講師は、事故で右手を失いながら看護師として働き、パラリンピック競泳日本代表としても活躍された「伊藤真波、さん。静岡県で看護の道をめざし、夢に向かって勉強されていました。20歳のとき父親の影響もあり好きで乗りはじめた中型バイク、ある日交通事故により右手切断という悲劇にみまわれました。事故後、ありとあらゆる事に対し、悔しくていたたまれない気持ちを両親にあたり散らす毎日が続いたそうです。大切な人たちからの励ましや、義手の制作、自助の努力によって、2007年神戸百年記念病院に入職し日本初の片腕の看護師になりました。さらに前を向き、水泳に打ち込み2008年北京パラリンピック、2012年ロンドンパラリンピックで入賞という輝かしい成績を取られました。



多くの人に支えられながら、何事に対しても逃げ出さず立ち向かう伊藤さんに「芯の力強さ」を感じました。受講者のみなさんに、これから先の人生、どんなときも『あきらめない心』で乗り切っていくことの大切さを教えてくださいました。

講演の最後に、伊藤さんは、肩甲骨の筋肉で義手と弓を操作し、「花は咲く」と「糸」の二曲をヴァイオリン演奏してくださり、ホールはやさしさに包まれる中 終演しました。



TVで伊藤真波さんの事を知り、今日はとても楽しみにしていました。本当に楽しい時間でした。私にも3人の子どもがいます。3姉妹です。今日の話をも3姉妹の子ども達にさせて頂きます。これからも真波さんを応援していきます。

人はこんなに強くなれるんだと感動しました。笑顔はこんなにステキな真波さん、お会い出来て良かったです。ヴァイオリン演奏すばらしかったです。おこ様のすこやかな成長をお祈り致します。

私は中学2年生の時、新聞の記事で伊藤さんを知りました。伊藤さんのあきらめない心が本当に伝わりました。私自身も、ものすごく励まされました。これからもがんばろうと思った講演会でした。

2022年度 町民人権講座

●会場はいずれも なびあす

	日時	演題	講師等	スタイル	テーマ
第1回	5月29日(日) 13:30~ 終了しました	映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』 講演「認知症が私たちにくれたギフト」 共催:美浜町地域包括支援センター	 信友 直子 (映画監督) 広島県呉市。泣きながら撮った1200日間の記録	映画上映 講演	高齢者
第2回	6月30日(木) 19:30~ 終了しました	講演「LGBTのこと、そして人権」 ～誰もが生きやすい社会へ～	 南 和行 (弁護士) 大阪の弁護士夫婦(ふうふう)	講演	性自認 性的指向 LGBTQ
第3回	8月6日(土) ① 10:00~ ② 13:30~	映画『子どもたちをよろしく』 企画:寺脇研×前川喜平	 映画の中子どもたちは、悩み、苦しみ、他人を追い詰め、自分を追い詰めていく。子どもたちの心の中の闇を振り絞るような叫び! この叫びがあなたの胸に届くだろうか。	映画上映	子ども 虐待 貧困
第4回	9月17日(土) 13:30~	講演「パパはお天気キャスター」 ～正木家の子育て～ 共催:美浜町子ども・子育てサポートセンター	 正木 明 (お天気キャスター) 子育て、家事、互いを尊重し合い支えあう“正木家のルール”	講演	子育て 家族
第5回	10月19日(水) 19:30~	講演「演題未定」 共催:美浜町人権教育研究会	 姜 尚中 (政治学者) テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍中	講演	国際理解 生きる意味
第6回	11月17日(木) 19:30~	講演「部落差別と向き合う私たち」 ～結婚差別を乗り越えて～	 石井 真澄 石井 千晶 部落問題と向き合い前向きに生きている夫婦	講演	部落問題

「人権のまち・美浜をめざして」

人権協・部会紹介 (全7部会)



会長
河合 政志



副会長
高橋 修



副会長
森本 哲



副会長
大塩 友之

人権擁護・啓発部会



部会長 瀬戸 弘勇

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 木野 隆 | 石嶋 幸枝 | 知場 富雄 |
| 吉本 典子 | 兼田 和雄 | 高橋 一男 |
| 上登野 栄子 | 加茂 ひろ子 | 武長 詩子 |
| 武田 晋 | 川尻 宏和 | 上道 沙織 |

人権週間を中心に啓発活動を行います。推進委員相互の交流や研修を行います。

広報部会



部会長 西野 泰弘

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 宇都宮 貴 | 山野 泰孝 | 中川 貴寛 |
| 一瀬 繁紘 | 川畑 成央 | 芝井 太志 |
| 南 宥希 | 港 真里奈 | |

年3回広報「ふれあい」を発行し、人権に関する情報や人権協などの活動に関する情報を提供します。

啓発資料・人権協コーナー部会



部会長 三好 万里子

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 森井 みどり | 福嶋 智恵美 | 上道 正二 |
| 山口 有一 | 池田 直美 | 塩濱 功平 |
| 山本 明紀 | 田中 優太郎 | |

身近に人権について考えていただけるような啓発資料「ふれあい」を発行します。人権週間中に、人権協コーナーを開設します。

作品公募・意識調査部会



部会長 渡辺 直史

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 木谷 浩章 | 宇都宮 亮 | 高木 誠 |
| 河本 猛 | 高木 隼 | 川畑 貴寛 |
| 橋本 紳 | 萩原 敦子 | 伊藤 弘昭 |
| 今安 沙都子 | | |

人権作品(短い手紙・絵・ポスター)の公募を行い、入賞作品は人権作品集「ふれあい」として発行します。7月に大規模意識調査を実施します。

町民人権講座部会



部会長 高木 賢治

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 竹仲 敏春 | 中牟田 春子 | 脇田 幸子 |
| 浜野 裕介 | 野原 泰夫 | 山口友加里 |
| 渡邊 理佳 | 武長 一紀 | 竹内 洋子 |

年間6回の講座を開設し、広く町民に人権に関わる学習機会を提供します。

推進団体学習部会



部会長 寺田 真一

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 兵庫 賢一 | 塚原 仁朗 | 山口 拓夫 |
| 松田 うめ子 | 幸丈 佑馬 | 田邊 拓登 |
| 浅妻 千尋 | 大同 浩子 | 武田 達也 |
| 荒木 祐作 | | |

集落・企業・団体等の自主的な学習会などの開催を支援します。

人権のつどい部会



部会長 木子 雅之

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 加藤 美千代 | 中嶋 さき子 | 河合 美恵子 |
| 野原 佐智夫 | 伊藤 善幸 | 玉井 なおみ |
| 本間 博美 | 一瀬 憲幸 | 池田 達弥 |
| 西村 康政 | 宇都宮 魁人 | |

人権週間の意義を踏まえ、12/10(土)に「人権のつどい2022」を開催します。

人権コラム

侵入者

「執筆」森本 哲



ウクライナをめぐる状況が連日報道されるなか、五月末に東京港でヒアリが確認されたことがちょっとしたニュースになりました。国内の初確認から五年もたつていて今のところ大きな被害はないようですが、人体に影響を及ぼす猛毒を持つとあって注目度が高いということでしょう。

日本ではすでに二千種以上の外来種が定着していると聞くと驚きますが、その七割以上が植物とあって身近にすぐに被害が及ぶ危機感が薄いと、ついほっとしてしまいがちです。自分が安心安全な「こちら」側において、危険な「あちら」とどれくらい離れているかが言動の基準になることはよくあります。

まだ終わっていないコロナ問題ですが、学ぶべき課題がいろいろと見えてきています。日本で大きな災害が起こっても略奪行為がないことに諸外国からは評価が高かったようですが、感染が一気に拡大してくると普段お世話になっている職業の人たちに根拠のない差別的な態度をとることが問題になりました。安定した「こちら」と不安定な「あちら」が接近して不安になったとき、今の社会の「つながり」の弱さが露呈したということでしょう。

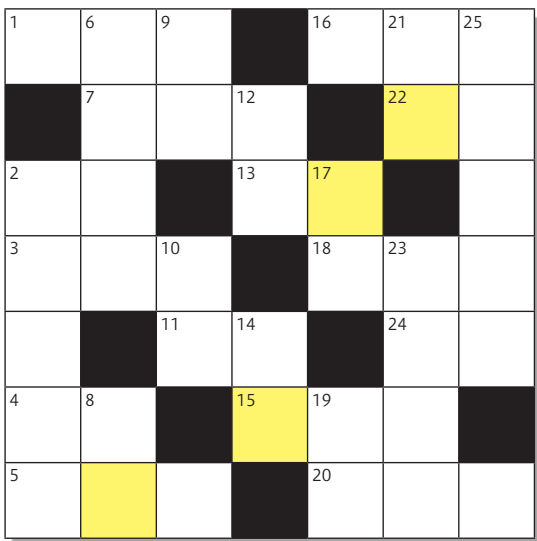
外来種というのは自分の能力でやってきた生物は含まず、人間活動の影響で入ってきたものをいうようです。来たくなかったのに連れてこられ、悪者にされ戦わされているとは言い過ぎかもしれませんが。

いずれにせよ、外来種の侵入で起こる社会問題は人間の知恵と努力で解決しなければなりません。人間に「非あり」です。



「ふれあい」第76号をお読みにした読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介します。これからもみなさんの「声」をお届けいただけると幸いです。

- ◆どの記事も心温まる記事の内容でした。主人と一緒に宇崎竜童さんの人権ライブ(2015年)、万引き家族(2019年)等々参加させて頂いて、帰途に着く頃には、もっとたくさんの方達の参加があればと惜しむほど、大満足の時間を過ごさせて頂いていました。孫達の守りをしていますので、なかなか参加させて頂く事が難しくなっていますが、残りの人生が短くなってしまったので、孫達と参加出来ればと考えています。(K. Hさん)
- ◆子供は褒めて成長させていくことが大事ですね。いつも楽しみに拝読させて頂いております。美浜の人から見せて頂いています。自動車同士の事故は修理で直りますが人と人の衝突はそうはいきません。起きる前に考えたいです。思いやりが大切です。感動をたくさんして感性豊かになることが大事ですね。(M. Tさん)
- ◆クロスワードパズルの答え「オカゲサマデ」良い言葉ですね。いつも心に留めてさっと使える言葉にしたいです。「宇梶さんの講演会、行けばよかった…」と後悔しています。(こえ声こえを読んで)これからは、もっとフットワーク軽く、人権講座に参加していきたいと思いました。(K. Tさん)



■ 応募方法 ■ (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

● 答え・住所・氏名を巻末の用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 人権協事務局 (生涯学習センターなびあす内)
※ FAX(0770-32-1222)
E-mail(jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)



- 〆切は、令和4年9月16日(金)です。(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
- 前号の人権クロスワードの正解は「おかげさまで」でした。たくさんのご応募、ありがとうございました。正解者は24名でした。今回の当選者は **川崎 孝一さん 高濱 信一郎さん 三谷 佳美さん 中村 新一さん 石橋 康一さん** 以上の皆さんです。おめでとうございます!

人権クロスワードパズル 黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

- 77歳を迎える方の長寿のお祝いのこと。
- 砂よりも大きく『ヨコ24』よりも小さいもの。
- 「世界一」や「ふじ」、「王林」などの品種がある果物。
- 全体の3分の2が和歌山県で生産されている果実。
- 種々雑多な人や物を指す四字熟語「有象〇〇〇」
- フランスやイタリアなど、ヨーロッパの多くの国で使用されている通貨単位のこと。
- 春から夏にかけて吹く東寄りの風のこと。「東風」と書きます。
- 料理の「さしすせそ」の「し」。
- 海驢と書く海生生物。水族館や動物園のショーで見ることも…。
- 胎内で胎児の姿勢が、正常の場合と逆になっていること。
- ニワトリやキジなどの頭の上にある突起物のこと。
- 第77代内閣総理大臣「〇〇〇俊樹」。
- マツやイチヨウなど、子房がなく胚珠が裸出している植物のこと。〇〇植物。
- なぞなぞ。『ヨコ2』の上に「山」を乗せると何になる？

タテのカギ

- 原子番号77の元素で元素記号は「Ir」。指輪やネックレスなどの宝飾品に使われます。
- 病院などで医師の診察を受けること。
- 「半分の」や「中くらいの」を指す言葉。〇〇フォルテ、〇〇ピアノなど。
- わたしがミーならあなたは？
- 知床〇〇、富士〇〇、三方〇〇が有名。
- 液体に含まれる個体粒をこし分けるのに用いる紙。
- 応援すること。〇〇ガール、〇〇リーダーなど。
- 雨〇〇、物〇〇、足〇〇、羽〇〇…
- 日本に住む哺乳類で、オスは角を持っています。
- 貝や卵の外側にある、表面を保護するために発達した組織のこと。
- 長く別れ別れになっていた人どうしが、再びめぐりあうこと。
- 第77代天皇「〇〇〇〇天皇」。

編集後記

◆4月以来、「3年ぶりに」という言葉をよく耳にしたり目にしたりするようになりました。行事やイベント、コンサート、祭礼などのほか、仕事でも参集型の会議が行われるようになってきました。コロナに感染したら大変だ、三密回避を…から始まり、ワクチン接種、経済への危機感、コロナ感染症への知見、withコロナ対策などから、元通りの日常を新しい生活様式の中で取り戻していこうという動きがはっきりと見取れます。◆決して終息はしていないわけですからまだまだ油断はできないのですが、2年という月日はある意味我慢の限界というか、やはり人は人と接することでこれまですべてのことを築きあげてきたのだと感じています。いくらICT(情報通信

技術)が発達してきたとは言え、やはりそれは便利な道具に過ぎず、真の意味で人としての思いを伝え合うのは、マスクを取ってお互い目を合わせながらのやりとりしかないなあと感じています。◆人権協27年目が始まっています。7つの部会が、人権協のテーマ「ふれあい」を求めて、「心のふれあいによって相手を理解し、思いやりの心が生まれ、新しい美浜をつくっていく」という思いの達成のために今年も活動を進めて参ります。今年もこの広報誌をぜひ手に取っていただき、多くの活動が皆さんの自分磨きと人の輪を広げるお役に立てば幸いです。今年も人権協へのご支援、ご協力をよろしくお願いたします。(西)